

6月6日(土曜日)「死の影の谷を歩くとも」

【新改訳 2017】

詩篇 23・1－6

「主は私の羊飼。私は、乏しいことはありません。……たとい、死の影の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが。あなたが私とともにおられますから。……」(1－4節)

詩篇 23 篇は、「詩篇の中の詩篇」とも言われています。ぜひ繰り返し読み、思いめぐらしてみてください。なんと美しい、豊かな内容でしょう。

特に四節で、どれだけ多くの人たちが慰めを受け、また、救われたかしれません。筆者自身、19 歳の時は重症の肺結核、60 歳を目前にして胃がんを病み、それぞれ、その時代では致命的と思われる病気の

中で、このみことばの祝福を体験させて
いただきました。この幸いは、言葉だけで
は言い尽くせません。

ターミナル・ケアにも重荷をもって約 10
年、多くの兄弟がこのみことばで勝利の
凱旋をされたのを見てきました。

生ける主がともにいてくださることは、
なんという幸いでしょう。ハレルヤ！

～祈り～

主よ。あなたは、明るい所だけでなく、暗
い、死の影の谷でさえも共にいてくださ
ることを感謝します。今、暗い所を歩んで
いる人たちに、この祝福を与えてくださ
い。

【学びのために】

「主は羊飼いの詩。

(参考区部) 1-4節 羊飼いのたとえ、5-

6節 客を迎える主人のたとえ。34 歳で

子宮がんで召された姉妹は、病床で何度もこの詩篇を読み返して支えられ、平安のうちに、きれいな笑顔で勝利された姿が今も印象深く残っています。